

# 和歌山

地域面3ページ

## 和歌山支局

〒640-8154 和歌山市六番丁5  
和歌山第一生命ビル4階  
TEL073(431)1411  
FAX073(433)0650  
wakayama@mainichi.co.jp

### 【通信機関】

橋本	0736(32)0063	新宮	0735(28)1751
海南	073(482)0675	御坊	0738(22)2511
湯浅	0737(62)2870	田辺	0739(26)1026
【広告問い合わせ】		073(423)9291	
【購読問い合わせ】		0120-468012	

星の占い  
マーク矢崎  
22日

# 美味追求するミカン農家

絵と文・熱田親喜 題字・熱田秦華

## 熊野古道

### みかんくま記

12

紀勢線の窓からミカンの畑をみると、一面の梅林や桃の花を思い出し、紀伊・和歌山は、果樹の豊かな地域だと痛感する。一度ミカン

の実がたわわに実っている畑に入り、豊かな気持ちを感じたいと思っていた。昨年11月、有田市宮原町須谷で生駒正剛さんの営むミカン畑を訪ねる機会を得た。最も忙しい農繁期なのに、快く案内をいただいた。目指す畑は須谷地区

にある傾斜地の中腹で、頂上には岩室城跡があり、裾野には有田川が悠然と流れていく。傾斜地の中腹に岬のよう突き出た畑の角に立つと、足元から続く段々畑は青々とした。燃えるような橙色のミカンに触れたいと、木々に近づくと、不思議な木の姿を発見。背丈より高めの木に、上半分に実はなく、下半分だけに大きなミカンがたわわに実っている。夕闇が迫るころ、ミカン畑を下りて自宅の作業場を訪ねると、選別機の下で女性たちが箱詰め作業に追われていた。生駒さんは奥まなそうに「忙しい時期はパートに行っ

た。被さるように根元から敷かれたマルチシートは、雨水の流入を防ぎ、土壌を乾燥させるためとのことだが、意外に手間がかかるようだった。

に被さるよう根元から敷かれたマルチシートは、雨水の流入を防ぎ、土壌を乾燥させるためとのことだが、意外に手間がかかるようだった。



ミカン畑(有田市宮原町須谷)にて

## 好条件の傾斜地 石垣も工夫

た。坂道になったら車を下りて歩くことを覚悟していたが、歩かずに済んだ。目的地に立つと、軽トラック1台分の幅の簡易舗装の農道が、麓から高低差200mの頂上までの傾斜地にゆったりと延びており、遠景からは見えない畑の動脈になっているのに驚かされた。昔、収穫したミカンを運搬するモノレールはなかったから、畑を運搬するモノレールはなかったから、畑

石垣で固められて「ひと壇」を作っていた。この石は近くの山で採られ、水はけの良い緑色片岩が多い。土砂崩れ防止だけでなく、太陽熱による保温効果、ミネラル栄養の供給の役割も果たしているという。石組みをよく見ると、各農家独自の工夫が組まれている。糖度を高めるために、12月まで完熟させて遅獲りすると

「生駒さんいわく、上半分は来年度も収穫するため、今年はお休みです」と摘果間引きの大切さを聞いてくれた。ミカンの木々に、健康と若さを持続させる思いやりは、安定生産と美味を追求する、生産者の情熱と見た。主に温州ミカンの早生を栽培しているが、糖度の高いミカン育てるために、12月まで完熟させて遅獲りすると

「次回は2月26日に掲載します」